

第1 平成17年度当初予算の状況

1 予算のあらまし

(1) 財政環境と予算編成方針

国の平成17年度予算は、平成16年6月4日に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」を踏まえ、平成16年度に引き続き歳出改革の一層の推進を図ることとし、一般会計歳出については、実質的に前年度水準以下に抑制してきた従来の歳出改革路線を堅持・強化することとされました。このため、従来にも増して、歳出全般案にわたる徹底した見直しを行い、歳出の抑制と所管を越えた予算配分の重点化・効率化を実施するとともに、これにより、基礎的財政収支の改善を図り、国債発行額についても極力抑制することを基本的な考え方として編成が行われました。

この結果、一般会計予算の規模は、82兆1,829億円（前年度比720億円、0.1%増）、一般歳出は、47兆2,829億円（前年度比3,491億円、0.7%減）となっています。

また、平成17年度の地方財政対策においては、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が回復傾向にある一方で、公債費が高い水準で推移することや社会保障関係費の自然増等により、依然として大幅な財源不足が生じるものと見込まれています。歳出面については、国の歳出予算と歩みを一にして見直すこととし、中期的な目標の下で、定員の計画的削減等による給与関係費の抑制や地方単独事業費の抑制を図り、これらを通じて、地方財政計画の規模の抑制に努めることにより、財源不足額の圧縮を図ることを基本しながら地方財政対策を講じることとして地方財政計画が策定されました。その規模は、83兆7,700億円（前年度比8,969億円、1.1%減）となっています。

本県の平成17年度予算については、「県民しあわせプラン」の実現に向け、重点プログラムをはじめとして戦略計画に定める施策を着実に推進させていく一方、厳しい財政状況に対応するため、財政の健全化に向けて引き続き歳出全般にわたる徹底した見直しを行っていくとともに、厳しい優先度判断を行いながら、「選択と集中」をより一層進めることにより、限られた財源の中で最大の効果を得られるようにしていきます。